

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)

【公表番号】特表 2006-509093 (P2006-509093A)
 【公表日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-011
 【出願番号】特願 2004-559064 (P2004-559064)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)
 C 0 9 J 7/00 (2006.01)
 C 0 9 J 133/00 (2006.01)
 C 0 9 J 153/00 (2006.01)
 C 0 9 J 183/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00
 C 0 9 J 7/00
 C 0 9 J 133/00
 C 0 9 J 153/00
 C 0 9 J 183/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 25 日 (2006.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 および第 2 の接着剤層の間に介在バックング層を有さない前記第 1 および第 2 の接着剤層を含む、ディスプレイオーバーレイの裏面をディスプレイの前面に固定するための光学透明接着剤物品であって、前記物品が前記ディスプレイ上で再位置調整可能であるように第 1 の接着剤層が十分に低粘着性であり、前記物品が前記ディスプレイオーバーレイから伸長剥離可能であるように第 2 の接着剤層が十分な粘着性を有すると共に前記物品が十分な凝集強さを有する、光学透明接着剤物品。

【請求項 2】

前記第 1 の接着剤または第 2 の接着剤が酸をほとんど含有しない、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記第 1 の接着剤が水で洗浄されて少量の汚染物を前記第 1 の接着剤から除去し、それを粘着状態のままにしておくことができる、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 4】

前記第 1 および第 2 の接着剤層の間に介在バックング層をさらに含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 5】

ディスプレイの前面に接着固定され得る裏面を有するディスプレイオーバーレイであって、前記裏面が、それに接着固定された請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品を有する、ディスプレイオーバーレイ。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品によってディスプレイオーバーレイの裏面に接着固定された前側表示面を有するディスプレイ。

【請求項 7】

裏面を有するディスプレイオーバーレイをディスプレイの前面上に取付けるための方法であって、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の複数の光学透明接着剤物品を用いて前記裏面を前記前面に接着固定することを含む、方法。